【今治市観光事業者物価等高騰対応事業費補助金　申請要領】

1【目的】

物価・エネルギー価格高騰の影響を大きく受ける観光事業者に対し、高騰している物価・燃料費の一部を助成することにより、事業継続を支援することを目的とする。

2【申請受付期間】 令和8年7月1日（水）～令和8年12月28日（月）

3【交付対象者】

（1）宿泊事業者（旅館業法（昭和23年法律第138号）第3条第1項の許可を受けた者）又は
（2）観光船事業者（潮流体験を営む市内事業者）であって、

次の①～④いずれにも該当する者

①宿泊施設又は観光船の所在地が今治市にあること。
②市税を滞納していない者
③今治市暴力団排除条例（平成22年今治市条例第50号）第2条各号に規定する暴力団、暴力団員及び暴力団員等のいずれかにも該当しない者
④申請日時点で、営業を休止（改装やメンテナンス等による一時的な休止を除く。）していない者

4【助成金等の額】

事業者の種別	補助金の額
宿泊事業者	申請時において市内で営業を行っている宿泊施設（風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第6項に規定する店舗型性風俗特殊営業を行う事業所を除く。）における収容人員に2,000円を乗じて得た額（一の宿泊事業者につき、1,000,000円を上限とする。） ただし、収容人員が10人以下の場合は、一律20,000円とする。
観光船事業者	申請時において市内で潮流体験を行っている観光船1隻につき100,000円

5【助成金等の算定】

（宿泊事業者）

【例1】：収容人員が10人以下の宿泊施設A、Bの2施設を営業している場合
施設A（収容人員6人）＝20,000円　施設B（収容人員10人）＝20,000円　申請額40,000円

【例2】：収容人員が11人の宿泊施設A、50人の宿泊施設Bの2施設を営業している場合
11＋50＝61人　61×2,000＝122,000　申請額122,000円

【例3】（宿泊事業者）：収容人員が600人の宿泊施設を営業している場合
600×2,000＝1,200,000円　※上限額1,000,000円のため　申請額1,000,000円

（観光船事業者）

【例1】：市内で潮流体験を行っている観光船を3隻保有している場合
3×100,000＝300,000　申請額300,000円

6【申請必要書類】

（1）宿泊事業者

① 今治市観光事業者物価等高騰対応事業費補助金交付申請書兼請求書（宿泊事業者申請様式）

② 誓約書（宿泊事業者様式）

③ 旅館業法に基づく営業許可証の写し

（2）観光船事業者

① 今治市観光事業者物価等高騰対応事業費補助金交付申請書兼請求書（観光船事業者申請様式）

② 誓約書（観光船事業者様式）

③ 船舶検査証書

7【申請方法】　今治市観光課へ持参または郵送

※補助金は、今治市から振り込みます。振り込みまで、申請受付から約1ヶ月を要します。

【問合先】　〒794-8511　今治市別宮町一丁目4番地1

今治市　観光課　担当：高井（ﾀｶｲ）、中田（ﾅｶﾀ）

TEL：(0898)36-1541　FAX：(0898)25-2961

記入例

別記様式第１号（第４条関係）

（宿泊事業者申請様式）

令和８年〇月〇日

（宛先）今治市長

申請者　郵便番号　794-8511

所在地　今治市別宮町1丁目4-1

名　称　〇〇〇〇（会社名等）

代表者　職・氏名　代表取締役　今治　太郎

（担当者氏名）観光　太郎（TEL）〇〇〇〇〇〇〇〇

保健所からの営業許可書の代表者と同一

今治市観光事業者物価等高騰対応事業費補助金交付申請書兼請求書

標記補助金として、次の金額の交付を、今治市原油価格及び物価高騰への対応に係る助成金等交付要綱第４条の規定に基づき、関係書類を添えて申請及び請求します。また、申請者の今治市税納付状況調査を行うことに同意します。

１　申請兼請求額の算定

宿泊施設名	客室定員	
〇〇ホテル	２００	人
〇〇旅館	５０	人
ゲストハウス〇〇	８	人
合計a	２５８	人

※宿泊施設における現状の客室定員（宿泊室のみ）を記入してください。

※複数の宿泊施設を運営している場合は、全ての施設を欄へ記入してください。

申請兼請求額	５２０，０００　円

※（a×2,000円）上限額1,000,000円

※aが10人以下の場合は一律20,000円

※aが10人以下の施設を複数運営する場合は、それぞれ施設ごとに20,000円とする。

【参考】算定の方法
（〇〇ホテル200人＋〇〇旅館50人）×2,000円＋ゲストハウス〇〇20,000円＝520,000円

記入例

2　振込先

金融機関名	○○銀行
支店名等	○○支店
預金種別	1. 普通　2. 当座（該当するものを○で囲んでください）
口座番号 （右づめ）	0　0　0　0　0　0　0
フリガナ	イマバリ　タロウ
口座名義人	今治　太郎

（注）申請者名義の口座を記入してください。

3　添付書類

・誓約書（宿泊事業者様式）

・旅館業法に基づく営業許可証の写し

----------以下の欄には記入しないでください----------

※以下記入しない

確定支給額　　円

記入例

（別紙）

（宿泊事業者様式）

誓約書

私は、この度の申請を行うに当たり、次の事項について誓約します。

1　本申請内容に虚偽があった場合には、補助金の交付の取消し及び返還に異議なく応じます。

2　申請した宿泊施設について、申請日時点で休止せず営業しており、今後も、営業を継続します。今治市から営業確認ができる追加書類を求められた場合、速やかに提出します。

3　今治市観光統計等の調査があった場合は、情報提供に協力します。

4　今治市暴力団排除条例（平成22年今治市条例第50号）第２条各号に規定する暴力団、暴力団員及び暴力団員等のいずれかにも該当しません。

5　この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

申請様式に係る申請者と同一

所在地　今治市別宮町1丁目4-1

名　称　〇〇〇〇（会社名等）

代表者　職・氏名　代表取締役　今治　太郎

記入例

別記様式第２号（第４条関係）

（観光船事業者申請様式）

令和８年〇月〇日

（宛先）今治市長

観光船を保有し、潮流体験を営む事業者

申請者　郵便番号　794-8511

所在地　今治市別宮町1丁目4-1

名　称　〇〇〇〇（会社名等）

代表者　職・氏名　代表取締役　今治　太郎

（担当者氏名）観光　太郎（TEL）〇〇〇〇〇〇〇〇

今治市観光事業者物価等高騰対応事業費補助金交付申請書兼請求書

標記補助金として、次の金額の交付を、今治市原油価格及び物価高騰への対応に係る助成金等交付要綱第４条の規定に基づき、関係書類を添えて申請及び請求します。また、申請者の今治市税納付状況調査を行うことに同意します。

１　申請兼請求額の算定

観光船名		
□□□□□		
〇〇〇〇〇		
△△△△△		
合計a	3	隻

※現状の潮流体験を行っている観光船名を記入してください。

※複数の観光船で潮流体験を行っている場合は、全ての船名を欄へ記入してください。

申請兼請求額	３００，０００	円

※（a×100,000円）

記入例

2　振込先

金融機関名	○○銀行
支店名等	○○支店
預金種別	1. 普通　2. 当座（該当するものを○で囲んでください）
口座番号 （右づめ）	0　0　0　0　0　0　0
フリガナ	イマバリ　タロウ
口座名義人	今治　太郎

（注）申請者名義の口座を記入してください。

3　添付書類

・誓約書（観光船事業者様式）

・船舶検査証書

----------以下の欄には記入しないでください----------

※以下記入しない

確定支給額　　円

記入例

（別紙）

（観光船事業者様式）

誓約書

私は、この度の申請を行うに当たり、次の事項について誓約します。

1　本申請内容に虚偽があった場合には、補助金の交付の取消し及び返還に異議なく応じます。

2　申請した観光船について、申請日時点で休止せず運航しており、今後も、営業を継続します。今治市から営業確認ができる追加書類を求められた場合、速やかに提出します。

3　今治市観光統計等の調査があった場合は、情報提供に協力します。

4　今治市暴力団排除条例（平成22年今治市条例第50号）第２条各号に規定する暴力団、暴力団員及び暴力団員等のいずれかにも該当しません。

5　この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

申請様式に係る申請者と同一

所在地　今治市別宮町1丁目4-1

名　称　〇〇〇〇（会社名等）

代表者　職・氏名　代表取締役　今治　太郎